

銭函ラリー

4カ所巡って食事券 26日まで

樽商大生企画

小樽商大の1、2年生3人が銭函地区を活性化しようとして、同地区の飲食店など

6カ所を巡るスタンプラリーを企画した。26日まで実施し、4カ所回ると抽選で参加店舗で使える食事券などが当たる。

「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト」(マジプロ)の一環。銭函地区を訪れるスキー客らに地元グルメを知ってもらおうことが狙い。同地区のラーメンやそば、スイーツ店など5店とスキー場「スノークルーズオーンズ」の計6カ所でスタンプを集める。スタンプラリーの台紙には参加店の割引クーポンも付けた。

4カ所のスタンプを集めた台紙は、参加店で預かり、学生が回収する。台紙は700枚作製し、JR銭函駅周辺のコンビニエンスストアなどに置いている。同大1年田村尚之さん(19)は「銭函以外から来た人に地元のおいしい店を知ってもらいたい」と話している。

(三坂郁夫)



銭函地区のスタンプラリーに参加を呼び掛ける小樽商大生

■ 銭函スタンプラリー「ぜに☆すた」商大本気プロが実施 (2017/03/09)

ツイート

小樽商科大学(緑3)の小樽を本気で活性化させるプロジェクト(本気プロ)は、銭函エリアのさらなる活性化を目指し、スタンプラリーを実施している。

リーダーの田村尚之君(1年)・宮崎雄太訓(1年)・齊藤英里紗さん(2年)の3名が、「銭函エリア、盛り上げます！」チームを結成し、今年1月から7月まで活動に取り組んでいる。



第1弾としてスタンプラリーを実施。銭函には飲食店が多数ある中、スノークルーズONZEのスキー客や銭函に足を運んだ人に、メンバーが太鼓判を押す美味しい飲食店5店を紹介している。スキー場も含めた6ヶ所の内、4ヶ所のスタンプを集めて応募する。

スタンプの台紙を700枚印刷し、参加店舗と小樽信金銭函支店や銭函のコンビニに配置。近日中にJR小樽駅にも置けるよう交渉する予定。



参加店舗は、ラーメンの海賊船(銭函2)、ネパールカレーのSURYA(銭函2)、和風レストラン大山(銭函3)、手打ちそば春別(銭函3)、土鍋プリンのガトーフレール(銭函3)、スノークルーズオーズ(春香町357)の6店舗。それぞれの店舗では、50円引きやドリンクサービス等のクーポンがある。

応募者の中から抽選で21名に、スタンプラリー参加店舗の食事券等の景品をプレゼントする。

田村リーダーは、「銭函の各店舗の協力を得て、クーポンを楽しみながらスタンプラリーに参加してもらいた。スイーツもあり、美味しい店が集まった」と参加を呼び掛けた。

次回は、4月から地元の人を巻き込むものを企画する予定で、7月に最終発表となる。

銭函スタンプラリー通称「ぜに☆すた」 実施期間3月1日(水)

～26日(日)